

2025年度事業計画書

NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会

1 事業実施の方針

(1) 自然環境の調査研究事業

環境省のモニタリングサイト1000里地調査も19年目となり、引き続き自然環境の推移や里山保全整備の影響等をモニタリングするほか、調査体験会、調査結果報告会の開催により、調査の継続と調査結果の共有により生物多様性の高い里山保全を進める。

(2) 自然環境保全に係る普及啓発事業

毎月の「ふる里散歩」(自然観察会)では、四季の多様な動植物を観察し、自然環境保全意識の啓発を図る。会報「やませみ」の作成配布、子どもたちへの自然環境教育、ハンノウ大学と連携したSNSによる情報発信・広報を充実するほか、30周年を記念した冊子の作成を行う。

(3) 自然環境の保全事業

自然共生サイト・東谷津ほとけどじょうの里の草原の維持、水辺整備などにより生きものがすみやすい里山保全を進める。また、引き続きはんのう市民環境会議の「天覧山谷津里づくりプロジェクト」へ参画し、小学校児童の参加を得て田んぼづくりを行うなど、ホテル、カエル、カヤネズミ、サンショウウオ等が暮らす谷津田の保全を進める。

(4) 里山文化の再生・創造事業

東谷津トラスト保全地の利用促進を進め、かい掘りや薪割り等のエコツアーを開催するとともに、多くの会員や市民の参加を得て里山感謝デーを開催し、他団体とも連携して、石窯などの施設の利活用や里山の自然にふれあえる事業を展開する。

(5) 自然環境保全に係る企画提案事業

天覧山・多峯主山一帯についての保全方向をまとめた「天・多の森構想」を行政や関係団体・企業へ提案し合意形成を図る。また、はんのう市民環境会議、市エコツーリズム事業等への参画を通じて、行政や企業・団体等と連携したネットワーク型の事業展開を図るための基盤づくりを進める。

(6) NPOの体制強化

経理処理等の効率化や事務局体制の充実を進めるなど、NPO法人やトラスト地等の維持・管理・継続のための体制を充実し、自然環境・里山保全が永続的に図れるよう工夫していく。

2 事業の実施に関する事項(2025年4月1日～2026年3月31日)

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者 予定人数	受益対象者の 範囲・予定人数	支出見込額 (千円)
自然環境の調査研究事業	環境省モニタリングサイト1000里地調査	通年	天覧山周辺	80人	全国	—
自然環境保全に係る普及啓発事業	ふる里散歩(7回)	通年	天覧山周辺	36人	市民	140人
	会報「やませみ」等作成配布(91-92号)	6.1月	市内	15人	市民	5,000人
	HIP、Facebook、メーリングリストの運営	通年	ネット上	12人	市民	1万人
	30周年記念誌の作成	通年	市内	10人	市民	—
自然環境の保全事業	東谷津の保全(固定資産税)	通年	東谷津	—	市民	—
	天覧山谷津里づくりプロジェクト(月1回)	通年	天覧山谷津	50人	市民	300人
	東谷津保全作業(月2回)	通年	東谷津	120人	市民	40人
里山文化の再生・創造事業	エコツアーの開催(2回)	10.3月	東谷津	15人	市民	30人
	里山感謝デー	12月	東谷津	10人	市民	30人
	他団体との連携	通年	東谷津	10人	市民	30人
	東谷津トラスト地の市民利用	通年	東谷津	3人	市民	30人
自然環境保全に係る企画提案事業	飯能市エコツーリズム事業への参画	通年	東谷津	5人	市民	100人
	はんのう市民環境会議への参画	通年	東谷津	12人	市民	400人
	市・西武鉄道等との懇話会の開催	通年	東谷津	10人	市民	30人
	30by30アライアンスの実現	通年	東谷津	4人	市民	30人